

m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 11

国立公文書館	
分類	返 赤
配架番号	3 A
	14
	81-11

NA # 14163

軍
事
極
秘

1 OCT 17
COPY 1957

總參謀長口演要旨

国立公文書館	
分類	
配架番号	81-11

昭和十六年十二月六日
支那派遣軍總司令部

總參謀長口演要旨

茲ニ各軍涉外主任幕僚ヲ會同シ
號作戰發起ノ場合ニ於ケル在支敵國
權益處理ニ關スル會議ヲ開催スルニ方
リ一言ス

開戦ニ伴フ處理方針及之カ準備措置
ニ關シテハ曩ニ軍司令官會同席上ニ於

テ開示セラレ本職亦指示スル所アリ
今ヤ遂ニ對英米關係最惡ノ段階ニ
到達シ近ク之ニ關スル發令ヲ見ントシ
アルニ鑑ミ直接敵國權益處理ノ掌ニ
當ルヘキ諸官ニ對シ重ネテ具體的ニ
總軍ノ意圖ヲ明示シ實施ニ當リ此ニ
齟齬蹉跌ナキヲ期セントスルモノナリ諸

官ハ宜シク皇國ノ眞ニ重大ナル時局ニ際
會セル事實ヲ認識シ彌々其ノ負荷ノ重
責ヲ銘肝シ最善ノ努力ヲ以テ任務
ノ完遂ヲ期セラレシコトヲ切望ス

一 在支敵國人及敵性權益處理ノ主眼
在支敵國人及敵性權益、處理ハ國際

法ニ準據シ公正ヲ旨トスヘク在英米
邦人權益ニ對スル報復的措置ヲモ考
慮シ苟モ感情ニ驅ラレ不法苛酷ナル
取扱ニ趨ラサルニト肝要ナリ之カ兵力
行使ニ就テモ敵國軍隊ノ大部既ニ撤
退セル今日ニ於テハ其ノ目的ハ戰鬥ニ
非スシテ專ラ重要權益物資ノ破壊

散逸及混亂動搖ノ防止ニ在ルヘキコト
ニ留意スルヲ要ス 而シテ兵力行使ハ
周到具體的ニ研究準備シ所在物資
施設ノ破壊防止ニ對スル軍隊ノ配置
(小部隊ニ至ル迄)ヲ豫メ命令シ當該
部隊ハ少クモ圖上教育ヲ完了シ幹部
ハ現地ヲ踏査認識スル等之カ實施

ニ方リ齟齬支障ナキヲ期スルコト必要ナリ
敵性租界等ハ之カ處理後ニ於テハ日本
側ノ負擔ハ必然的ニ増大スヘシト雖モ
之カ爲ニ凡有施策ヲ講シ極力我カ
負擔ノ輕減ヲ圖ルト共ニ其ノ機構施
設ヲ活用シ進テ之ニ依リ利ヲ産マシム
ル如ク利導スルノ着意ヲ必要トス特

ニ上海香港等ニ於テハ日本側負擔輕
減ノ見地ヨリ在住支那人ノ疎散方法
(適宜敵地へ轉住セシムル等)ヲ考慮ス
ルノ要アルヘク又會社工場等ノ機構
運営ヲ根本的ニ變更スルコトニ就テハ
軍部以外トノ關係モアリ軍獨自ノ見
地ノミヲ以テ行ハサル如ク留意スヘシ

其、他我カ軍事行動ニ直接關係ナキ
敵國系商事會社等モ我カ監視下ニ
努メテ其ノ營業ヲ繼續セシムルヲ有利
トスルコト多カルヘキニ留意スルヲ要ス

ニ支那側要人ノ獲得ニ就テ

支那側要人(重慶側及灰色要人ヲ含ム)

獲得及之カ利用ノ爲此等人物ノ財産
等ニ對シテハ苛酷ナル取扱ヲ避ケ相當
ノ保護ヲ加フルヲ要ス而シテ右人物ノ氏
名居住等ニ就テモ豫メ偵知スルト共ニ
之カ保護利用ニ任スヘキ部隊ヲモ命令
シ置クヲ要ス

三 敵國外第三國權益處理ノ主眼ニ就テ
敵國外第三國權益特ニ佛國租界等ニ
對シテハ好意的ニ帝國ノ施策ニ策應
セシムルコト必要ニシテ之ニ關シ物議ヲ
生セシメサルコトニ關シ部下將兵ニ徹
底セシメ置クヲ要ス

四 企圖ノ秘匿ニ就テ

今次南方作戰成功ノ鎖鑰ハ企圖ノ
秘匿ヲ以テ第一義トスヘク之カ爲苟モ
支那ニ於ケル敵性權益處理ニ關シ其
ノ事前不用意ナル行爲ニ基因シ作戰
ノ企圖ヲ暴露セシムルカ如キコトナカラシ
メンカ爲萬全ノ努力ヲ期スヘシ就中

直接行動ハ命令下達迄ハ絶對行フ
ヘカラス

五現地陸海協調ニ就テ

今次作戰ニ關シテハ中央並ニ總司令
部及方面艦隊間ニ於テハ彼我ノ間極
メテ友好緊密ニ協調ヲ遂ケアリ現地

敵國權益中陸海軍間ニ關係ヲ有スル
モノ、處理ニ關シテモ曩ニ軍司令官會
同席上本職カ強調セル如ク宜シク徒ニ
區々タル自我本位ノ主張ノミニ拘泥ス
ルコトナク虚心坦懷大局的著眼ノ下
ニ之カ協調ニ遺憾ナキヲ期スヘク此ノ趣
旨ヲ一兵ニ至ル迄透徹セシメ置クヲ要ス

殊ニ押收物資ノ處理ニ關シテハ圓滑ナル協調ヲ圖ルヘク又必要ノモノニ就テハ總司令官ニ於テ統制スル如ク指示セラレアルニ付特ニ諸官ニ於テモ此ノ點充分留意ノ上善處スヘシ

尚押收物資中處理要領ニ示サレアルモノニ就テハ陸海軍協同調査委員

ニ於テ調査シ速ニ其ノ數量ヲ報告セラレ度爾後之カ陸海軍間ニ於ケル分配利用等ニ就テハ中央ニ於テ決定セラルル筈ナルモ現地陸海軍ニ於テ絶對必要トスルモノハ其ノ旨明記ノ上報告スルモツトス

特ニ本廠ハ
ノ關係ヲ清
シメンコト
隊ニ於テモ
司令部ヨリ
定ニ付同時
同行協定普
度

押收物資ノ處理ニ關シテハ圓滑ナ
調ヲ圖ルヘク又必要ノモノニ就テハ
令官ニ於テ統制スル如ク指示セラ
ルニ付特ニ諸官ニ於テモ此ノ點充分
心ノ上善處スヘシ

收物資中處理要領ニ示サレテ
ニ就テハ陸海軍協同調査委員

調査シ速ニ其ノ數量ヲ報告セラ
爾後之カ陸海軍間ニ於ケル分配
等ニ就テハ中央ニ於テ決定セラル
ナルモ現地陸海軍ニ於テ絶對必
スルモノハ其ノ旨明記ノ上報告ス
トス

特ニ本廠ハ青島ニ於ケル過去ノ陸海軍間
ノ關係ヲ清算シ友好明朗ナル状態ニ釋セ
シメンコトヲ念願シアリ幸ニ海軍方面艦
隊ニ於テモ此ノ旨全然同感ニシテ近ク兩
司令部ヨリ參謀ヲ現地ニ同行セシムル豫
定ニ付同時北支方面軍及第十二軍參謀モ
同行協定善處スルコトニ關シ含ミ置カレ
度

裏面白紙

六不良日本人進出防止ニ就テ

軍新占據地ニ於ケル不良日本人ノ跳梁
跋扈力全般ノ施政ニ惡影響ヲ及セル
既往ノ事實ニ鑑ミ之カ防止ノ為當分
ノ内上海租界(蘇州河以南地區)ニ於テハ
軍部以外日本人ノ進出ハ極力之ヲ制
限スルヲ必要トスヘク爾他ノ地域ニ於テモ

右ニ準シ適宜之ニ關シ取締ノ處置ヲ
講スルヲ要ス

尚各軍ニ於テ準備セラレアル所ヲ聴取シ
タル上要スレハ更ニ意見ヲ開陳スルコトト
スヘシ

細部ニ關シテハ第四課長ヲシテ説明セシム



